

平成27年産水稻の生育状況について（7月1日現在）

1 生育概況及び今後の管理

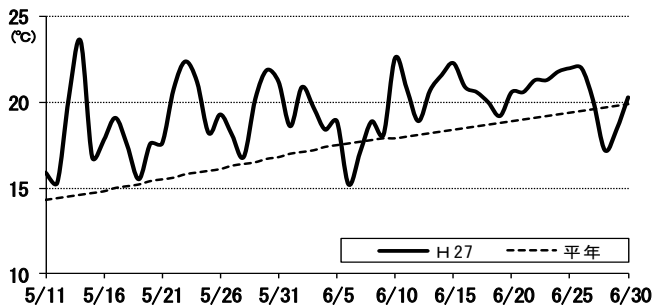
- 気温が平年より高く推移していることから、水稻の生育は概ね順調であり、葉数（平年差+0.2枚）からみると平年に比べて2～3日程度進んでいると思われる。
- 生育調査ほの県全体平均は、草丈が51.6cm（平年比104%）、1㎡当たり茎数が557本（平年比103%）であった。
- 本年における県平均の「^{ようすい}幼穂形成期^{*}」は7月7～8日頃と見込まれ、今後、低温が予測される場合（平均気温20℃以下または最低気温17℃以下）には、幼穂を保護するための深水管理（水深10cm程度）を実施するよう指導している。
- 今後、葉いもちに感染しやすい気象条件になりやすいことから、水田をこまめに観察し、葉いもちの発生が確認された場合には適切な防除を行うよう指導している。
- 水田周辺の^{はんでんまい}斑点米カメムシ類の密度を低くするため、水田畦畔の草刈りは水稻の^{しゅつすい}出穂10日前（平年では7月25日頃）までに終わるとともに、周辺の雑草の草刈りは7月20日頃までに実施するよう指導している。

※幼穂形成期（ようすいけいせいき）

「幼い穂」が稲の茎の中でつくり、1mm以上の長さになった時期で、出穂（しゅつすい：穂が出ること）の25日前頃からである。（例えば、幼穂形成期が7月10日とすると、出穂日は8月4日頃と予想できる。）

2 具体的データ

(1) 平均気温の推移（仙台アメダス）



(2) 旬別の気象データ（仙台アメダス）

	平均気温(°C)		降水量の合計(mm)		日照時間(時間)	
	本年	平年比	本年	平年比	本年	平年比
5月上旬	16.2	2.2	0.0	0%	86.3	139%
5月中旬	17.9	3.2	44.5	105%	84.6	155%
5月下旬	19.8	3.7	0.5	1%	102.4	149%
5月	18.0	3.0	45.0	41%	273.3	148%
6月上旬	18.8	1.2	30.0	90%	77.1	138%
6月中旬	20.6	2.1	4.0	9%	45.9	103%
6月下旬	20.5	1.2	96.5	147%	44.5	133%
6月	20.0	1.5	130.5	90%	167.5	125%

(3) 生育調査結果

a. 県全体

県全体	草丈			茎数			葉数			葉緑素計(GM)値		
	本年	前年比	平年比	本年	前年比	平年比	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差
	(cm)	(%)	(%)	(本/㎡)	(%)	(%)	(枚)	(枚)	(枚)			
	51.6	98	104	557	94	103	9.9	▲0.2	0.2	40.2	▲0.6	▲0.7

b. 地域区分別

地域区分別	草丈			茎数			葉数			葉緑素計(GM)値		
	本年	前年比	平年比	本年	前年比	平年比	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差
	(cm)	(%)	(%)	(本/㎡)	(%)	(%)	(枚)	(枚)	(枚)			
北部平坦	51.5	97	103	571	93	102	9.8	▲0.3	0.1	41.5	1.1	0.2
南部平坦	59.7	104	109	572	106	103	10.6	0.4	0.6	37.9	▲6.2	▲2.3
仙台湾沿岸	49.5	96	110	493	94	135	9.9	▲0.4	0.6	38.6	▲2.7	▲3.5
西部丘陵	53.2	99	104	557	91	107	10.0	▲0.1	0.2	40.2	0.3	0.4
三陸沿岸	47.3	104	107	643	100	105	10.2	1.0	0.9	36.7	▲4.1	▲3.3

c. 品種別

品種別	草丈			茎数			葉数			葉緑素計(GM)値		
	本年	前年比	平年比	本年	前年比	平年比	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差
	(cm)	(%)	(%)	(本/㎡)	(%)	(%)	(枚)	(枚)	(枚)			
ひとめぼれ	52.2	99	104	537	94	102	10.0	▲0.0	0.3	40.8	▲0.1	▲0.2
ササニシキ	48.5	94	104	599	95	107	9.7	▲0.5	0.1	38.4	▲2.2	▲2.5
まなむすめ	55.4	95	99	594	90	104	9.7	▲0.5	▲0.0	40.7	▲0.5	▲0.5

※平年比・平年差：前5ヶ年（平成22年～26年）の平均値との比較

※葉緑素計(GM)値：葉に含まれている葉緑素(クロロフィル)量の測定値で、栄養状態を把握するもの。

※次回は7月10日現在の調査結果を7月13日発表予定です。